

第8回総会を開催

キャラバン営業など普及推進

草会 防業 木業 栃工 県ク 栃工 業会

栃木県防草ブロック工業 総会で挨拶した舟田会長
 会(TWBA)・会長川舟田 月にかけて行ったキャラバ
 詔文氏)は11月26日、ホテ 業会は発足から8年目を迎
 ルマイステイズ宇都宮(栃 えた。今年度より新規加入
 木県宇都宮市)で第8回総 社の八幸製作所を迎えて10
 会を開催した。 体制となる。9月から10



新規加入では八幸製作所として、日本雑草学会・サ
 が入会し、会員社は10社と テライト会場での企業出
 になった。また任期満了に伴 展、那須烏山市の里地里山
 りたい」と述べた。 前年度の活動は産学連携



杉山新会長

総会では第7回事業報告 会長が杉山幸彦監事(富山 参加、第5回宇都宮大学コ
 ・収支決算報告と第8回事 ンクリート工業)と交代 ラボレーションフェア出
 業計画・予算案などを審議 すると共に、事務局が富山 展、県土整備部へのキャラ
 し原案通り可決承認した。 バン営業など、会員社の活
 前期の活動は8回に及ぶ コンクリート工業に変更と 発な活動によるチャレンジ
 営業技術会議を開催した になった。また理事として渡 部に溢れた一年だった。
 他、日本雑草学会第63回 部龍也氏(新生興産)を選 今年度からは八幸製作所
 都宮大会(3月)、栃木県 任した。 杉山幸彦新会長は「栃木
 庁ポスター掲載(4月)25 県内での防草ブロック製品 となった。全国防草プロ
 年3月)、雑草問題解決プ の幅広い活用を目指してい ク工業会は全13支部ある
 ロジェクト・現地ワークシ ョップ(7月)、宇都宮大 一企業の単独の力で普 が、栃木県は沖縄県、群馬
 学コラボレーションフェア 出展(9月)、栃木県土整 及を図っていくのは難し 県と同様に大きな支部に成
 備部へのキャラバン営業 極的な普及推進活動を進め いる防草ブロックキャンペ
 (9月)10月)を行った。 て参りたい」と抱負を述べ ーンは、一般の道路利用者
 今期は総会(11月)の他、 から多くの応援メッセージ

役員会(年2回)と営業技 術部会(毎月)、栃木県庁 術部会(毎月)、栃木県庁 術部会(毎月)、栃木県庁
 ポスター掲載、HP更新、 長には前会長の舟田詔光氏 宇都宮大学フィールド試験 とともに、長年にわたる協
 現場検証、可視化実験のイ 会運営に尽力を頂き感謝 会運営に尽力を頂き感謝
 ベント化、栃木県土整備部 を申し上げる。新たに杉山 比の技術であり、引き続き
 へのキャラバン営業など、 会長のもと、新体制で当工 皆さんの協力を得て、防草
 引き続き防草ブロックの積 業会のさらなる発展を祈念 ブロックの普及を図って参
 極的なPR活動を展開す りたい」と挨拶した。

官民連携による、まちづくり

前橋市と共催イベント開く

テラメンラム フォーラム 関東イン

インフラメンテナンス国 ユーアルプロジェクトにお ンシールSソフト・ガイ
 民会議関東地方フォーラム ける、まちづくりの維持管 理について意見交換を行っ
 は11月27日、前橋プラザ元 気21(群馬県前橋市)で前 した。
 橋市との共催によるフォー プログラムは2部構成 ム(▽グローバルアイズ・
 ラムイベント「自治体のイ で、第一部では新技術紹介 ニチレキグループ)のほか、
 ソンフラ維持管理効率化に向 として、雑草抑制技術▽ 前橋市における雑草抑制対
 けた取り組み・官民連携に 草の根バスター・都市環境 策や橋梁維持管理手法の発
 よるまちづくりの実践から 美化▽目地張りシート、強 表などが行われた。また第
 のインフラ維持管理」を開 壮目地シート・白崎コーポ 二部では、前橋市・馬場川
 催し、インフラ維持管理の レーション▽目地処理材イ 通りの再開発プロジェクト
 効率的化・課題解決に向けた カスミ・小泉製麻▽草ゼロ について、パネルディスカ の赤城商会(本社、群馬県
 連携・取り組みの発表や、 プレート・早川ゴム、小 シッションが行われた。 弥氏)が参画しており、2
 前橋市・馬場川通りのリニ 規模橋梁における補修技術 第二部のテーマとなった



馬場川通り約200mがレンガとベンチのリラックス空間に

012年に発生した笹子ト ンネルの事故以来、同社で はインフラ整備や老朽化対 策を通じた社会貢献を事業 活動の大きなテーマに掲げ ている。
 企画委員・代表幹事を務 める同社の柳澤正和氏は、 「前橋市の市街地中心部を 流れる馬場川と広瀬川は、 『水と緑の街、前橋』の象 徴だ。馬場川通りや広瀬川 河畔では、まちなかの整備 が徐々に進められている。 大きな賑わいにまではなっ ていないが、周辺には立ち 寄りやすい場所や店が増え、 特に馬場川通りでは、街の 雰囲気が変わりつつあるこ とが実感できる。通り沿い では2021年から進めら れてきた工事が完了して、 レンガ敷の空間が生まれ た。川沿いには200メー トルにわたりデッキとベン チが設置され、水と緑に囲 まれながらリラックスでき る場所となっている。整備 をするための資金の調達方 法や運営方法なども含め て、前橋市が打ち出した『め ぐく』というビジョンが 市民に受け入れつつあると 感じている。今後もフォー ラムの企画・運営を進め、 インフラメンテナンスや、 まちづくりに貢献していき たい」と話している。